

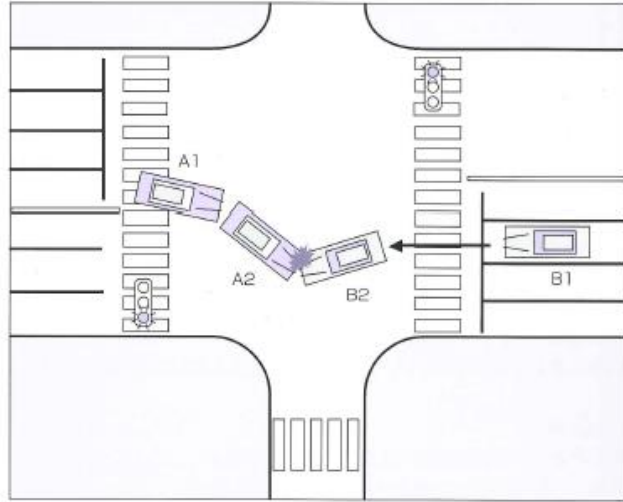
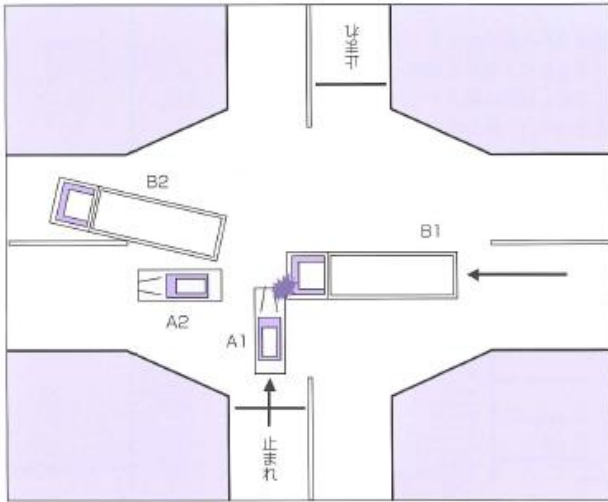
人はどんなミスをして 交通事故を起こすのか

～キーワードは“思い込み”～

セニヤド
ライバー
通信

事例1 一時停止のある交差点

事例2 右折車対直進車



交差点での典型的な事故のパターンを2種類紹介します。
それぞれ、A車・B車に見られる「ミス」を考えてみましょう！

事例1 当事者A:

- ①約30km/hで一時停止標識のある見通しの良い交差点にさしかかる。
- ②いつも閑散とした道なので、良く確認せずに交差点に進入。
➡認知ミス「減速に車はくるとはしない／思い込み」= 見たのに見なかったミス

当事者B:

- ①約50km/hで交差点に進入。
- ②当事者Aを認知したが、一時停止なので止まるだろうと判断。
➡認知・予測ミス「一時停止なので相手が止まるはず／思い込み」

『教訓』

- ①いつも車が来ないからといって、確認を怠ってはならない。一時停止場所では必ず一時停止。
- ②一時停止でも必ず相手が止まるとは限らない。

事例2 当事者A:

- ①青信号で交差点に進入、右折のため交差点中央付近で待機。
- ②数台の対向車をやりすごした。
- ③対向車が途切れたので、後続の対向車を認知したが、行けると判断。
➡認知・予測ミス「対向車はもっと遠い、遅い／思い込み、あせり」

当事者B:

- ①前方に当事者Aを認知していたが、当然自分が通り過ぎるまで待つと判断。
➡認知・予測ミス「自分が先に行ける、相手が待つはず／思い込み」

『教訓』

- ①交差点での右折では、急いでなくても“あせって”判断・予測を間違えやすい。
- ②交差点通過は減速気味で、間違っても加速はしないこと。

一般的に、運転者は「認知」、「判断」、「操作」という手順を踏んで自動車の運転をしています。
交差点での「ミス」は事故に直結します！運転前には、今回の「教訓」を忘れずに！

裏面に続く ➡